

日本共産党久喜市議団 石田としはる活動ニュース

栗橋地区、皆さんの声が活動のみなもと

2023年 3月号 no. 24

Tel 52-7260 fax 52-9565

携帯 090-5808-5265

メール ishida00@apricot.ocn.ne.jp

「久喜市議団ブログ」開設中 検索



久喜市の公共交通を もっと使いやすい便利なものに

公共交通は久喜市の根幹をなす事業です。利便性を高めることによるメリットは大きく、改善を求め質問しました。

デマンド交通（くきまる）

問 鷲宮・栗橋地域を菖蒲地域と比較すると、登録者数で4.6倍、利用者数で2.3倍多い。混雑で予約が取りづらく、30分前は、ほとんど予約がとれない。車両の台数は両地域とも2台で同じ。公平とは言えない。

答 台数が適正か検討していく。
問 改善策は車両の台数増やせば良い。1台早急に増やすべき。どこが問題で増やさないのか。
答 拡大するには費用がかかる。
問 利便性を高めれば複合的な効果が生まれ費用を上回る。
答 国土交通省では健康寿命が延び1億2千万の医療費削減効果が

ある事例を紹介（富山市）。免許証を早く返上し交通事故も減る。車両1台増やす以上の大きな効果がある。

答 影響は大きく重要性も認識している。交通計画策定で勘案する必要がある。参考値を出す。
問 鷲宮・栗橋から「新久喜総合病院」にデマンドで直接行けない。菖蒲地区からは行けるように改善した。鷲宮・栗橋からも行けるようにすべき。
答 通院に利用されていると認識している。利便性が向上できるか検討していく。

問 旧久喜市内でも、デマンド交通を運行すべき地域がある、実施すべき。
答 久喜地区でもデマンド交通の活用を考えている。
問 民間事業者と共存する意味で、公共交通料金より民間バスの方が安くなるよう「お出かけ定期券」等を発行すべき。

答 交通弱者の移動支援の充実で非常に参考になる手段、民間の事業と共存、公共交通とのバランスの点でも、定期券など含め参考にしたい。
問 スマートフォンで予約が取れるシステムが加須市で始まった。久喜市でも実施してはどうか。
答 承知している。参考にしたい。

ふれあいタクシー

開始時間9時を、もっと早めるべき。
答 市では新たな地域公共交通計画の策定を考えている。その中で検討。



「菖蒲地区」と「栗橋・鷲宮地区」
それぞれのエリア 2台で運行中

日本共産党久喜市議団

暮らし優先の市政へ修正案を提出

（総額 約11.37億円）

物価の高騰が続く中、年金が実質的に下がるなど暮らしが一層厳しさを増しています。暮らしを守る予算修正案を提出しました。

◆国保税値上げをストップします。

令和5年度久喜市は国保税を値上げします。値上げを中止します。金額3.2億円です。

◆介護保険料を引き下げます。

国が負担する保険料5%分が、令和5年度は0%になりました。この分は市民負担から市の負担に修正。金額5.4億円です。

◆補聴器を購入の補助金を創設

高齢者の聴力低下を早期に対応すれば認知症が予防され健康寿命が伸びます。金額150万円

◆デマンド交通の車両を増やします。

30分前では、ほとんど予約が取れません。車両を増やし改善します。金額1280万円

◆学校給食費無償化を継続します。

市は昨年11月から今年3月まで無償にしています。憲法で義務教育は無償としており全国で拡大しています。金額5.5億円



◆小中学校体育館にエアコンを設置。

調査費5100万円

◆大規模水害、避難訓練時のバス車両を増やします。

栗橋地区すべてで、バスによる避難訓練ができるようにします。金額31万円

◆住宅リフォーム・商店リニューアル

助成制度を創設。4000万円

令和5年度予算編成された中で

不要と考えられる予算を削除

◆フルマラソン大会関係予算を削除
久喜市では市民マラソンが開催されています。それに加え今年度予算では「フルマラソン大会」の予算が計上されました。この企画については、まだ市民の理解が得られていない、時期尚早と判断し大会開催業務委託料など削除するものです。金額▲7744千円。

◆東鷲宮駅周辺整備事業予算を削除
立体施設（歩道橋）の設置は、利用者数の検証など確かなものがないこと。地元市民の意見聴取も弱いことから削除します。金額▲3億7000万円



歩道橋 イメージしたものです。

東鷲宮駅東側にカスミストアが開業予定。その2階に公共施設が入ります。JR東側出口と公共施設を結ぶ歩道橋の予算。電車を利用して来る方の利用を見込んでいます。が、確かな利用者が不明です。

秋谷病院→栗橋病院で開院

2023 年 4 月 3 日(月)診療開始

紹介状はいりません

診療科目は内科・外科など



現在の菖蒲清掃センターに
建設予定の新ごみ処理施設

皆さんの要望実現に全力



ごみ処理施設、宮代町との負担割合は

令和5年度予算では、ごみ処理建設に伴う宮代町が負担する予算1億1900万円が当初計上されましたが、審議前に削除されました。

久喜市はごみ処理場の建設を進めており、2023年度(R5)に着工し2027年度(R9)稼働予定です。これまでごみ処理場建設の費用では、運営費も含め422億円に上ります。

市は、ごみ処理場は「迷惑施設」で、地元の方への配慮が必要とし、斬新なデザイン、隣接して建設する公園、温浴施設と一体化した施設を計画、マラソンコースの設置など予算が膨らんでいます。

宮代町の負担割合どうするか

市は、宮代町とは焼却場に関する費用全額が決まった段階で負担割合を決める協定を結んでおり協議中としています。

「宮代町は焼却場、温浴施設、公園などすべて含む内容を焼却場の費用として認めているのか」との質問には、「久喜市はすべて含む内容をテーブルに載せて協議中」との答弁で、宮代町も認めているとは答弁しませんでした。

栗橋駅東のまちづくり

開発の進捗は



栗橋駅東口の開発 重点地区

問 栗橋駅東口開発に関係する皆さんからのアンケート結果は。

答 重点地区全体を考えた面的整備、区画整理事業での開発を求める回答が一番多い結果でした。今後、駅東まちづくり推進協議会に説明し、意見を伺い集約してホームページに公開して行きたい。

問 令和5年度予算では実現化方策検討業務委託を計上。区画整理の施工範囲、整備内容、概算の事業費、事業期間、区画整理した場合の「減歩率」を算出し地権者の皆さんに改めて伺う予定。

問 区画整理事業の手法で、今後開発することを決定したのか。

答 区画整理事業を進めるには、地権者の方など関係権利者の同意が非常に重要と考えている。従って現段階では「まちづくりの方向を決めた」ということではない。

栗橋地域の環境整備で質疑

◆南栗橋8丁目 遊歩道予算 1.5億円

問 遊歩道を整備する場所はどこ。

答 トヨタホームの分譲地とイオンの間210m。

問 運動公園にあるトイレ。改修する予定は。

答 老朽化しているとの認識はある。

◆佐間・八甫線の整備進捗は

問 工事が進んで来ているが、県道の整備も含め、共用開始になるのはいつか。

答 令和7年度を見込んでいます。

問 佐間浄水場前の道路は、道路幅が狭い。共用開始にむけて、道路幅を広くすべき。特に佐間浄水場は、給水貯水槽も設置されており、災害時には拠点となる。

答 県道、阿佐間・幸手線も令和7年度完成し共用開始を目指している。信号機を設置する予定で、佐間浄水場に向かう80mについては拡張する。

要望 この道路は、栗橋から鷺宮方面へ向かう幹線道路となる。道路の幅を確保することは必須。かならず実施するよう求める。

◆栗橋北彩高校前の土地活用は

答 運動広場として今後検討していく前提でスポーツ振興課と協議を進めている。

◆栗橋駅西土地区画整理地内の公園整備

問 令和5年度の整備場所はどこになるか。

答 10号街区公園を予定している。

◆高柳の工業団地 周辺整備

問 令和5年度事業内容は。約2億円の予算取りつけ道路、用地買収にかかる費用。

さいたま・栗橋線の西側の市道、通学路の安全対策など実施する。

◆門扉橋の工事進捗 右折帯は

答 栗橋・鷺宮両方に要望し用地確保を進めている。

「反撃能力(敵基地攻撃能力)の抜本的見直しを求める意見書」

提出者 渡辺昌代・石田利春

賛成者 杉野修 猪股和雄

政府は、新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略及び防衛力整備計画を閣議決定し「反撃能力」の保有を進める。これは、相手国の領域内にあるミサイル発射手段等を攻撃するものであり、憲法9条の個別的自衛権の行使を認める従来の憲法解釈とは全く違う解釈となる。外国からの武力攻撃の排除のために必要な最小限のものとする原則に反し、脅威を与える攻撃的兵器の保有で憲法違反。安保法制のもとでの敵基地等の攻撃は、日本が攻撃されていなくても他国を攻撃することになり、報復攻撃を招く。軍事費は2027年度までに総額43兆円、GDP(国内総生産)比で2%と現在の2倍にする。くらしを直撃する事は明白である。政府は、武力に依存するのではなく、日本国憲法が掲げる恒久平和主義に基づき、最大限の外交努力を尽くすべきである。

意見書に対する質疑から報告

問 日本から攻撃することは憲法上からも、あり得ないことであり、このことから意見書の必要性はないと思うが、認識を伺う。

答 敵基地攻撃能力の保有は、トマホークなど他国に脅威を与え、「専守防衛」を逸脱する危険極まりない計画。安保法制のもと「日本の存亡に関わる」との日本政府の判断で先制攻撃も否定しない。憲法にも国際法にも違反する行為となる。

問 外交が通用しない隣国から、攻撃を受けた場合に、国民を守る方法があれば、どのような方法があるのかお示しください。

答 政府の対応は、「外交が通用しない」というほどの力は尽くしていない。年に1000回話し合いを続けるASEANをお手本に。

採決の結果 賛成者は日本共産党 市民の政治を進める会
合計5名 否決